

自己紹介



株式会社 こなつ農園

こなつ ひであき
小夏 英昭さん (熊本市)

東京で会社員をしていましたが、農業を営む両親の高齢化や、故郷での農業の可能性を考え2013年に就農しました。就農以来、土づくりを基礎とした有機農業で稲作に取り組み、販売まで手掛けています。
(有機JAS認証取得)

生産するうえでのこだわり

「豊かな自然環境と持続可能な農業を将来世代に継承する」を経営理念に掲げ、環境負荷の軽減に配慮した「環境保全型農業」に取り組んでいます。
田んぼには肥料を入れず、稲刈りの際に発生する稲わらを田んぼにすき込み、土の中にいる微生物や稲が持つ本来の力を引き出しています。



販売先

当園ホームページでの販売、食べチョク、店頭渡しによる販売

消費者の皆さんへ

玄米及び精米の販売に当たっては、①真空パックで米の劣化防止②14℃の冷蔵庫に保管し休眠保存③低温乾燥を行い、おいしいお米を提供しております。
ぜひ、ご賞味ください。

生產品目

米



苦労している点

農薬を使用しないので除草は大変です。
また、種まき等の繁忙期には集落の人を雇用していますが、集落の高齢化が進み70歳代後半の農業者が多いため、だんだん難しくなっています。



HP・SNS

[こなつ農園](#)

